冬の森

東北地方（日本の主要島のうち最も大きい島、本州の北部）は、世界でも有数の豪雪地帯です。150cm を超えることもある高い降雪量は、この地域にブナ林が多い理由の一つです。例えばナラは大雪の重圧で折れてしまいがちですが、ブナの木は柔軟性があり、折れることなく雪の重さに耐えることができます。また、雪の覆いは母樹からもじゃもじゃの実に包まれて落ちてくる仁の高い生存率を担保します。雪は木の実の湿度を保ち、採餌する動物たちからその姿を隠してくれます。ブナの実はクマからリスに至るまで多くの野生動物の食糧の一部で、特にネズミの好物です。より降雪の少ない地域では木の実はあまり守られず、冬の間にほとんどが食べられるか枯死してしまいます。